

2022年度 日本工学院専門学校

ネットワークセキュリティ科

校外研修 4

対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	東堂 隼平			実務経験	有	職種	システムエンジニア				

担当教員紹介

高専卒業後、富士通株式会社にシステムエンジニアとして入社。セキュリティソリューション本部に配属後、2年間、主に公共系システムのNW設計・セキュリティ等を担当。応用情報技術者試験、CCSI(Certified Cisco Systems Instructor)を保有。

授業概要

IT業界は日々成長を繰り返しており、入学時に最新技術であったものが、卒業時点では陳腐化していることも起こる。そのため、自身の就きたい仕事について常にアップデートしながら必要となる追加技術を調べ、目標に向かって努力をしていく必要がある。

本講義ではIT関連の展示会や講習会に参加して最先端のIT企業が提供しているサービスや製品について知り、自身の目標を更新していく。また、就職時に必要となるコミュニケーション能力についても企業様への質問を通して学んでいく。

到達目標

イベント参加前に、ブースの展覧情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、イベント参加時には企業様の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。

最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる。

授業方法

校外で実施されるITの展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業ではどういったサービスや製品を提供しているかを知り、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。

成績評価方法

レポート	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する
成果発表（口頭・実技）	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する

履修上の注意

研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回のガイダンスで説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。

教科書教材

毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	ガイダンス 事前に準備しておくべきことを理解できる
第2回	事前準備(1) 出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる
第3回	事前準備(2) 出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる
第4回	事前準備(3) 出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる
第5回	企業説明へ参加(1) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる

2022年度 日本工学院専門学校	
ネットワークセキュリティ科	
校外研修 4	
第6回	企業説明へ参加(2) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第7回	企業説明へ参加(3) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第8回	企業説明へ参加(4) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第9回	企業説明へ参加(5) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第10回	企業説明へ参加(6) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第11回	企業説明へ参加(7) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第12回	企業説明へ参加(8) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第13回	資料作成・発表(1) 校外研修の内容を資料にまとめ、発表する
第14回	資料作成・発表(2) 校外研修の内容を資料にまとめ、発表する
第15回	資料作成・発表(3) 校外研修の内容を資料にまとめ、発表する